

はじめに

熊谷市立富士見中学校では、文部科学省より本年度と来年度の2年間にわたって、「豊かな体験活動推進校」の指定をうけ、学校支援委員会、行政、地域の人々との協力を得ながら全校をあげた取り組みを実践している。

1 推進地域（熊谷市）について

(1) 熊谷市の位置と特徴

熊谷市は、関東平野のほぼ中央に位置し、埼玉県内では北部に位置している。市域のほとんどが平地であり、市街地南端を荒川が流れ、その南には一部丘陵地域もある。

また、古くからの中仙道の宿場町であり、交通の要衝として栄えてきた。現在でも、埼玉県北の主要都市として、国・県をはじめとした行政・教育・文化・福祉施設が数多く立地している。

市街地は、JR熊谷駅・籠原駅を中心とした地域に拡大しており、その周辺部には、田・畑を中心とした農地が広がっている。

しかし、近年は少子高齢化や都市化の波が押し寄せており、児童生徒の自然体験や農業体験も減少してきている。

(2) 推進地域としての活動の目的

上記のような状況を踏まえ、地域の特徴を生かし、推進地域として、子どもたちの発達段階や地域の実情に応じて、様々な体験活動を実施することにより、児童生徒の社会性や豊かな人間性を育てることを目的としている。

(3) 推進地域としての取組の内容

地域の実情や各学校の特色を生かして、公園や通学路及び駅などの公共施設の清掃などの環境美化活動や植栽などの奉仕活動、福祉施設訪問のボランティア活動、林間学校等による自然体験活動、稲作づくりなどの農業勤労体験活動、日本古来の芸術・文化の体験活動などを、小・中・高の発達段階に応じて実施する。

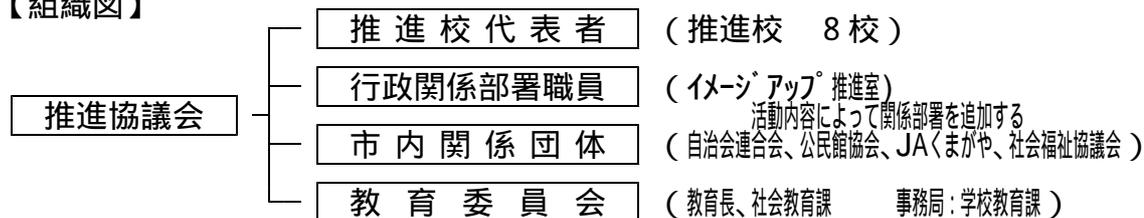
また、推進地域協議会を通じて、推進校相互の情報交換を行うとともに、体験活動に関連する各種団体からの指導、助言を受けることにより、よりよい体験活動の推進を図っている。

さらに、今後は、推進校以外の学校への体験活動の普及に努める。

2 推進地域協議会について

推進地域協議会を組織し、各推進校の体験活動が円滑にかつ効果的に実施できるよう、指導・助言・協力を行う。また、小・中・高相互の連携や情報交換を行うことにより、推進地域全体での体験活動の普及に努める。

【組織図】



3 富士見中学校の概要

- (1) 教育目標 学ぶ生徒(知) 心豊かな生徒(徳) 健康な生徒(体)
- (2) 経営方針 「生きる力を醸成すべく、認め・励まし・感動しあう共育の創造を目指して」
- (3) 目指すもの「師弟同行」「文武両道」
- (4) 学校研究課題 ア 二期制による、特色ある教育課程の編成・実施・評価に関する研究
イ 心豊かな生徒の育成を目指す学校同和教育(人権教育)
- (5) 学校規模(平成14年12月9日現在)
生徒数 872人 学級数 25学級 教職員数 60人

4 体験活動のねらい

- (1) ボランティアなどの社会奉仕活動を通し、豊かな心や感受性を育成する。
- (2) 様々な体験活動に全校で取り組むことにより、学校と地域との結びつきを一層深める。
- (3) 校区内の清掃活動等に取り組むことにより、熊谷市民としての自覚を高め、地域社会に貢献できる生徒を育成する。

5 「豊かな体験活動」推進の基本方針

- (1) 全教職員の支援を通して、生徒の主体的な体験活動を推進する。
- (2) 体験活動のテーマを生徒会で公募することにより、活動の意欲を高める。
- (3) 体験活動と教科との関連を図り、より一層興味・関心を高める。
- (4) 地域の指導者の招聘・行政との連携を図ることによって、地域とのつながりを深める。
- (5) 生徒の体験活動の様子を学校新聞等で地域に発信する。

6 活動計画

学年等	体験活動の種類・内容	期間・日数・単位時間数	活動の対象
1年生	赤城大沼周辺のクリーン作戦 赤城山の自然に関する体験活動	6月10日から 15日までの 6日間	1年生全員 赤城山周辺の方 講師、教員
全学年	クリーン作戦などの社会体験、 さいたま博通り植栽活動	7月15日から 18日までの 4日間	1年生から3年生 全員、地域の方 講師、行政
全学年	さいたま博通り植栽植替活動	1月14日	1年生から3年生 全員、地域の方 PTA、教員
3年生	熊谷駅・市役所周辺の美化活動 郷土熊谷市の歴史・文化に関する 体験活動	3月5日	3年生全員、教員、 講師
1年生 2年生	星川シンボルロードの美化活動 星川の歴史・自然に関する体験 活動	3月20日	1、2年生全員 PTA、教員、講師

7 実施の概要 (12月9日現在)

(1) 実施内容

ア 熊谷赤城山の家林間学校 (2泊3日)・・・1年生

6月10日～15日 (2班編制)

- ・クリーン作戦・・・大沼・山の家周辺
- ・講師による講話「赤城山の自然・歴史・星の観察」

講師 日本植物友の会植物写真家

さん

- ・自然散策、登山



自然散策風景



講話の様子



湖畔でのクリーン作戦

イ 通学路等のクリーン作戦と講話「ボランティア活動の実際と課題」・・・全校
7月15日

- ・クリーン作戦 富士見中学校周辺・中央公園及びその周辺・
万平公園及びその周辺



クリーン作戦
の様子



講話の様子

- ・講師による講話「ボランティア活動の実際と課題」

講師 朗読ボランティア「こづえ」

さん

心身障害者デイケア施設

さん

ボランティアサークル「こんぺいとう」

さん

ネパールの子どもたちの就学を支援する会

さん

ウ 「さいたま博通り」の植栽及び草花プランターの設置・クリーン作戦及び講話
1年生・・・7月16日 2年生・・・7月17日 3年生・・・7月18日

- ・講師による講話

1年生「植栽について」 講師 埼玉県環境アシスタント

さん

2年生「星川の歴史・由来等」熊谷市郷土文化会

さん

3年生「熊谷のゴミ問題」 熊谷市役所環境保全課

さん



植栽後プランターの設置 (さいたま博通り)



植栽指導



植栽についての講話

(2) 学校としての推進体制

- ア 「豊かな体験活動推進事業」推進委員会・・・実施計画の立案・実施
校長、教頭、豊かな体験推進担当、学年推進委員、ボランティア福祉教育主任、特活主任、道徳主任、総合的学習の時間主任、青少年健全育成主任、教務主任で構成している。
- イ 学校支援委員会・・・体験活動の場や機会の開拓、指導者の確保等
学校内の「豊かな体験活動推進事業」推進委員会に加え、PTAの役員、行政（市イメージアップ推進室、環境保全課）熊谷市郷土文化会等の協力を得て、支援委員会を組織している。

8 豊かな体験活動の成果と課題

(1) 活動の成果

- ・赤城山林間学校では、登山等の自然体験だけではなく、クリーン作戦を実施したことで、観光地のゴミの多さを痛感した。生徒たちにとっては「自然」に対するマナー等、良い教訓となった。
- ・クリーン作戦では、生徒全員で、5～6人単位の学級の班で、空き瓶・空き缶、ゴミ拾い、草取り等を行った。集まったゴミは小型トラック5台分にも達した。この活動を通して、生徒は無責任にゴミを放置している現実の姿、また、分別することの大切さを学んだ。
- ・植栽・草花プランターの設置は、行政との連携で行われた。猛暑の中での活動であったが、「花のすがすがしさを感じた」「さいたま博通りがきれいになった」等の感想が多く、身近な地域についてじっくり考えるよい機会となった。また、地域の方々からも「暑いなかごくろうさま」「毎日花を見るのが楽しみです」等の声が多数寄せられた。
- ・「クリーン作戦で豊かな体験」という題で、地元新聞（8月13日）で活動の様子が地域に紹介された。

(2) 今後の課題

- ・「クリーン作戦」等、奉仕活動の一層の推進。
- ・家庭や地域との連携の一層の強化。